

白雪姫

【菊池寛訳（青空文庫）https://www.aozora.gr.jp/cards/001091/files/42308_17916.htmlを使用】

童話としてお馴染みの「白雪姫」ですが、本来のグリム童話の世界観を感じられる大人向けのものをよみ解きたいと思い、今回は、菊池寛訳（青空文庫）を使用しました。

この日の勉強会では、登場人物を自我状態、人生の立場、ストローク、ディスカウント、ラケット感情等、交流分析の視点で分析するとともに、童話「白雪姫」が何を伝えているのか、その歴史的背景、菊池寛が訳した意味などにも話が及びました。

☆以下に参加者でシェアしたものを一部だけ簡単に記します。

- ・白雪姫：A が機能していない、本物の感情、純粹無垢、スーパー能天気
- ・女王（継母）：ラケット感情（妬み、焦燥感、不安）、第4の立場、鏡しか信用できない
- ・小人：A, NP、白雪姫に対しての教育的意味、なぜ小人かなぜ7人か、精霊
- ・鏡：ネガティブ A（事実をそのままいってしまう）、鏡の役割は？ 鏡に意図があるか？
- ・童話が伝えていること：女性は美しく従順に、容姿も試練も親からのギフト、性的成長と異性との出会いそして母離れという成長物語

他にも様々な意見が出ました。参加者皆でシェアすることで気付くことがたくさんあり、グループワークの醍醐味を感じます。

実際に参加することでしか得られないものがあるように思います。

最後に、私個人の感想ですが、童話・昔話を使ったよみ解きは、交流分析の勉強にとどまらず、人が生きていくうえで必要な、なにか深い意味での気づきを得られるように思います。今回の「白雪姫」を使った勉強会では、ユング心理学的な視点からのよみ解きもありました。それと交流分析の「人生脚本」や「脚本からの脱却」とを繋げられたら面白いのではないかと考えています。まだ、何をどう繋げるかまでは考えが及んでいませんが、今後深めていかれたらと思います。

（まとめ：礒部かおり）